

(別紙4(2))

事業所名: グループホームわかば

作成日: 令和 5年 10月 8 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在、安全面や生命維持を優先し、やむを得ず身体拘束を実施している利用者がある。改めて身体拘束を必要としない状態の実現を目指すために他に代替できることは何かを職員全体で検討を重ね、廃止に向けての取り組みを考えていかなければいけない。	身体拘束をなくす	月1回のスタッフ会議にて身体拘束をしている利用者について検討をしているが、拘束をしないで済むような案を出し合い実行していき、中止にできるよう取り組む。	12ヶ月
2	35	年2回の避難訓練が必須となっているが利用者の参加はできてない。消火器を使用した訓練や自主訓練を実施したり、有事の際の職員の役割分担を改めて確認・周知する	法人での避難訓練の他、GH独自での避難訓練を行い、利用者の安全確保に向けて意識を高める。	3ユニットで年1回は利用者と共に避難訓練を行う。各利用者の移動方法や避難経路を職員がきちんと把握できるようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。